

平成 22 年度 第 2 回 理 事 会

平成 22 年 7 月 26 日 (月) 17:00 ~

沖縄県名護市「名護中央公民館第 1・2 研修室」

次 第

- 1 専門部長挨拶 高 松 彰
- 2 議長選出 高 松 彰
- 3 議事録署名人指名 理事 群馬県立高崎工業高等学校 平葭正樹氏を推薦し、承認。
- 4 定足数確認 理事現在数の3分の2以上(委嘱状を含む9名)の規定を満たす13名の出席により会議成立

5 協議事項

- (1) 平成 22 年度全国高等学校選抜自転車競技大会要項について 【総務部会長】

選抜大会改定案等について (今井)

- ・メディアドームの開催日程の関係で3/27(日)ロード競技、3/28(月)~29(月)トラック競技に変更した。
- ・ロード会場を熊本県山鹿市特設ステージに変更した。
- ・要項の8参加制限の改定。
- ・参加申込書の中に「都道府県委員長確認印欄」を設け、参加選手確認表の提出は削除する。
- ・参加料を3,500円に変更する。
- ・参加申し込みおよび参加料納入期限は平成23年1月14日(金)に変更。
- ・女子の総合順位をつける。1位の学校には賞状とトロフィーを贈呈する。

以上 承認

ロードレース会場変更の経緯 (坂井田)

- ・5月中旬に山鹿市教育委員へ依頼。補正予算が間に合わず、今年度開催は厳しいと返答があった。
- ・次に、北九州市に、ロード開催を依頼。しかし、トラック開催のみとした予算編成で申請済み。北九州市でのロード開催を断念。
- ・7/16に中田(熊本県)が山鹿市長に、直接山鹿市でのロード開催を再度依頼し了承された。予算的にも問題なし。

ロードレース会場について (中田より説明)

- ・ロードコースは国際ロードレースのショートコース(8km)を使用。男子10周回(80km)、女子5周回(40km)で行う予定。
- ・あんずの丘公園をスタート・フィニッシュ地点とする。駐車場、チームピットも十

分確保できる

- ・監督、選手宿舎も温泉地であるため十分確保できる。

女子の参加制限について（福田）

- ・1人2種目以内であるが500mTTか2kmIP、スクラッチかケイリンのような種目選択ができるように変更したい。
- ・スクラッチとケイリンは1校3名までに変更。

以上 承認

(2) 全国高体連自転車競技専門部規約改定について

【総務部会長】

- ・第5章を変更（ブロック委員長、都道府県委員長の職務、選出法の明確化）。
- ・第6章、7章を変更（常任理事会、理事会を追記）。
- ・事務局申し合わせ事項の「<事務局次長について>前事務局長（前期1年）」を削除する。

原案どおり承認

(3) その他

6 報告事項

(1) (財)日本自転車競技連盟及び(財)全国高等学校体育連盟の報告について 【理事長】

- ・JKAからの補助金が昨年度に比べ、減額になるようなので大幅な経費削減が必要である。
- ・今後加盟登録者を増やす（未登録者を無くす）。

(2) 秩父宮記念杯の修理について

【理事長】

- ・純銀製であり、原形を活かしたまま修理をすることで承認。

(3) 平成23年度全国高等学校総合体育大会自転車競技会の実施要項について

【秋田県実行委員会】

- ・8/9（火）～11（木）トラック競技、8/12（金）ロード競技になっている。
- ・ロード会場が田沢湖周回特設ロードコース（21.8km×5周+8km計117.0km）。勾配7%の上り坂後ゴール。スタート時刻予定は8時であるが、変更になる可能性が大。
- ・参加料を3,500円に変更する。

(4) 各専門部会より

強化部予定について（大野）

- ・全国合宿：8/12（木）～15（日）愛媛県松山市。
- ・日韓対抗：11/7（日）岸和田競輪場 IH上位入賞者から出場選手選出。
- ・チーム対抗：IH上位入賞者から出場選手選出。
- ・ツールドいわて：9/2（木）～5（日）。

技術審判部より（福田）

- ・競技規則解説を作った。
- ・選抜大会男子1kmTTの標準タイムを変更する。

(5) 平成22年度賛助会員の募集について

【事務局】

- ・別紙参照。
- ・賛助会員の加入数を増やすために啓蒙していく。

(6) その他